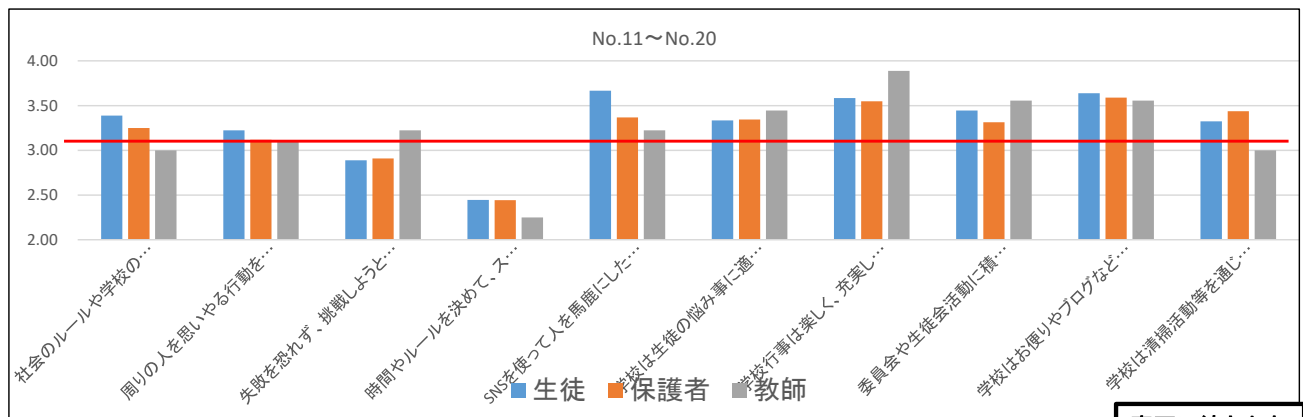
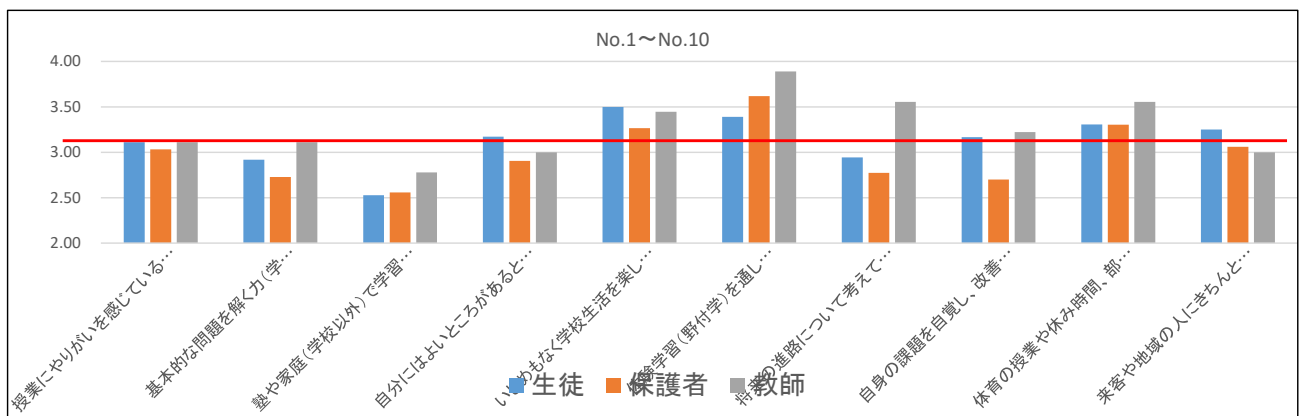


令和6年度 第1回学校評価アンケート集計結果

(令和6年7月実施 令和6年9月30日現在)

- ◆数値は各項目について4段階評価した平均点。
(4：よくあてはまる 3：ほぼあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない ?：よくわからない)
- ◆平均点が「3」を超えていたら、概ね満足と評価できる。

評価項目	質問項目	生徒	保護者	教師	平均
未来を切り拓き、生徒の育成、社会貢献する	1 授業にやりがいを感じている（とっている）	3.11	3.03	3.11	3.08
	2 基本的な問題を解く力（学力）が身についている。	2.92	2.73	3.11	2.92
	3 塾や家庭（学校以外）で学習に取り組んでいる。	2.53	2.56	2.78	2.62
	4 自分にはよいところがあると感じている。	3.17	2.91	3.00	3.03
	5 いじめもなく学校生活を楽しいと感じている。	3.50	3.26	3.44	3.40
	6 体験学習（野付学）を通して、故郷に貢献しようとする気持ちが育っている。	3.39	3.62	3.89	3.63
	7 将来の進路について考えている。	2.94	2.77	3.56	3.09
	8 自身の課題を自覚し、改善するように努めている。	3.17	2.70	3.22	3.03
	9 体育の授業や休み時間、部活動などを通じて、体力の向上に努めている。	3.31	3.30	3.56	3.39
野付学区CS	10 来客や地域の人にきちんと挨拶ができる。	3.25	3.06	3.00	3.10
	11 社会のルールや学校のルールを守って生活している。	3.39	3.25	3.00	3.21
	12 周りの人を思いやる行動をとっている。	3.22	3.12	3.11	3.17
	13 失敗を恐れず、挑戦しようとしている。	2.89	2.91	3.22	2.90
	14 時間やルールを決めて、スマホやタブレットを利用している	2.44	2.44	2.25	2.38
その他	15 SNSを使って人を馬鹿にしたり、傷つけたりするようなことはしていない。	3.67	3.37	3.22	3.42
	16 学校は生徒の悩み事に適切に対応している。	3.33	3.34	3.44	3.37
	17 学校行事は楽しく、充実した活動になっている。	3.58	3.55	3.89	3.67
	18 委員会や生徒会活動に積極的に参加している。	3.44	3.31	3.56	3.44
	19 学校はお便りやブログなどで、学校や生徒の様子を紹介している。	3.64	3.59	3.56	3.59
20 学校は清掃活動等を通じて、校内外の環境整備に気をつけている。	3.32	3.44	3.00	3.25	



裏面に続きます

【アンケート記述内容と回答】

＜保護者記述内容＞

- ①いつも熱意をもって、向き合ってください、ありがとうございます！
- ②また何かありましたらすぐ連絡をお願いします。
- ③様々なチャレンジを見守って支えてください、いつも本当にありがとうございます！
- ④欠席した時やちょっとした事でも連絡をして下さって、いつもご配慮いただきありがとうございます。
- ⑤部活動の再編など、生徒数が減少する中で地域移行をする流れがある時代、文化系体育系など部活の見直しを行い、子ども達が意欲的に参加しなくなる課外活動や部活動を目指していけたら良いかと思えます。

＜本校としての回答＞

⑤について、生徒数が減少する中、本校においては5つもの部活があるのに対し、今年度3年生が引退した後は、陸上部10名、野球部2名、バレーボール部5名、卓球部1名、音楽部4名と、部によっては満足な活動することが困難な状況にあります。また、各部に複数の顧問を配置できていないこともあり、本校の部活動のあり方については、喫緊の課題となっています。今後は、ご家庭や子どもたちの意見を聞きながら、部活動の削減や地域移行も視野に入れ、町教委と連携して見直しを図っていきます。

【三者の比較からの考察と改善策】

※昨年度より質問内容を変更しております。

「5 いじめのない学校」、「6 体験学習」、「9 体力向上」、「15 適切なSNS利用」、「17 学校行事」、「18 生徒会活動」、「19 情報発信」については三者ともに高評価となりました。学校と家庭の連携を更に強め、今後も継続した指導を展開していきます。

一方、「2 基礎学力」、「3 学校以外の学習」、「13 挑戦」、「14 メディアのルール」については、3.0を下回る結果となりました。特に「2 基礎学力」と「3 学校以外の学習」については、単元で必要とされる知識・技能の習得について生徒と共通理解を図り、自立した学びをねらいとした授業改善を図るとともに、子どもたちが、家庭でも探究心をもって学習に取り組みたいと思うような授業づくりを実践していきます。また、タブレットを持ち帰り、ご家族と一緒に課題に取り組めるような家庭学習の環境整備を目指していきます。

「13 挑戦」については、全校朝会のスピーチや認め合い活動（ピアサポート）などを通じて、生徒の自己有用感を高め、共感的人間関係の構築をねらいとする教育活動を展開していますが、今後も引き続き、子どもたちが認め合い、高め合えるような環境と雰囲気づくりに努め、「失敗しても大丈夫」という学級・学校校風土づくりを目指すとともに、成功体験や達成感が味わえるような機会を設定していきます。

「14 メディアのルール」については、**家庭のご協力が不可欠**です。SNS利用や動画鑑賞等、長時間メディアを使用することは、学力向上の妨げになることが各種研究機関のデータによって実証されています。今一度ご家庭内で、メディアの使用時間と適切な使い方について約束事を確認するなど、ぜひとも話題にさせていただきますようお願いいたします。

その他、「7 将来の進路」「8 自己指導」「20 環境整備」については、三者の評価にズレが見られます。学校のねらいが一方通行とにならないよう、子どもたち・ご家庭との対話を大切に、合意形成を図りながら教育活動を進めていきます。

＜改善策＞

【学習面】

①基本的な問題を解く力を身につけるためのサポート

- ・各種学力調査の結果を活かした授業改善（苦手分野の把握と対策）を実践します。
 - ・再テストや課題提出のサポート、家庭学習応援teacher制度など、個に応じた学習指導を継続します。
 - ・小テストの再テストや課題提出のサポートなど、個に応じた指導を展開します。
 - ・ICT（一人一台のタブレット）を活用した個に応じた指導の充実及び家庭での学習で活用できる環境を整備します。
 - ・「基本的な問題を解く力が身につけている」かどうかについて、生徒・保護者と情報を共有し、共通認識を図ります。
- ⇒基礎学力の明確化を図る。（各教科のテストで基礎基本の問題に判断材料として印をつけるなど）
⇒テストのリフレクション（振り返り）を活用して基礎問題の定着を目指します。

②自主的な継続的な家庭学習の定着に向けて

- ・授業のまとめと振り返りの時間を活用し、家庭学習でやりたいこと、やるべきこと、やり方を自分で考え、計画的に取り組めるよう継続的にサポートします。
 - ・自学ノート紹介コーナーの取組を継続し、頑張りや認め合い、他者のよい取組から学び合うことで家庭学習の質の向上に役立てる。また、生徒への紹介の仕方や掲示方法の工夫をします。
 - ・家庭でも学びたくなるような課題設定の工夫と授業づくりを推進します。
 - ・生徒の家庭学習の取組について、保護者に学級通信や学校便り、ブログなどで発信していきます。
- ③中学校3カ年を見通したキャリア教育と進路指導の充実を図ります。
- ・具体的な方策（二・三者面談、進路資料、職場体験）の価値を高めます。
 - ・キャリアパスポートで保護者・生徒・教師（地域）とのやり取りを充実させます。

【生活面】

①メディアコントロールに関する取組

- ・指導部から家庭への啓発を継続します。
- ・メディアを深夜まで使用した結果、睡眠不足で朝食も摂らず、体調が悪い状態で授業を受ける生徒が増えているので、適時声掛けや面談などを通じて、生徒自身がメディアの利用について振り返るような場面を設定します。
- ・防犯安全教室等で、社会的な実態やSNSの利用に伴う危険性を周知していきます。また、メディアの適切な利用方法を指導します。

②チャレンジ精神・自己肯定感の向上

- ・授業や行事の中で「失敗を次につなげることが大切」という雰囲気づくりを大切にし、「できた」ことを褒め、子どもたちが達成感を得られるような活躍の場を与えていきます。
- ・引き続き、学級活動を中心に、各行事や生徒会活動、部活動等で、個に合った目標を設定させながら、成功体験を重ねさせ、自己肯定感を高める教育活動を実践します。
- ・教育相談等を通じて、自分の存在が集団の中での「大切なひとり」であることを粘り強く伝えていきます。